



「家康は、むし歯に悩んでいたのだろうか？」

高輪会は現在、約600の介護施設で、約1万人の患者様を、訪問診療しています。

医業とは、病を治し、心を癒し、人に愛されること。その為に、人間を学び、社会を学び、健康の「有り難さ」を学ぶのも歯科医の勤です。

戦国の日本を一つにまとめ、260年の平和国家の扉を開いた徳川家康。

彼の偉業の秘訣は健康にありました。

そしていつもメデイカル・コンサルタントの

曲直瀬道山まなせ どうざんに医療のあり方を学んでいたのです。

全ての健康は、「歯の学び」から始まる。

高輪会は、訪問診療という新しい歯科医療の仕組みで、社会貢献を目指します。

医療法人社団 **高輪会**
高輪会グループ
dentalcruise

0120-648-714

東京都港区高輪3-25-33 長田ビル4F

医療法人社団 高輪会

www.takanawakai.or.jp



食べるとは、生きること

加齢や病気などが原因で「自分の口」が機能しなくなってしまうたら、何が起きるでしょうか？ 美味しそうな料理をお腹いっぱい、よく噛んで味わって食べる。そんな当たり前の「食べる楽しみ」が叶わない毎日がやってきます。

それだけではありません。楽しく会話をしたり、笑ったり、表情で気持ちを伝えたり…豊かに生きるために欠かせない「コミュニケーション」も難しくなってしまいます。

そんな、「生きる根源」とも言える重要な役割を持つお口の衰えを防ぐ正しいケア、皆さんはできていますか？

認知症などで介護が必要となり、自分で歯磨きをすることが難しくなっている、というようなご家族がいらっしゃる場合は、特に注意が必要です。お口が清潔に保たれていないと、歯周病や虫歯になり、そこから誤嚥性肺炎やインフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症にかかるリスクが高まるほか、口臭が気になって会話を楽しめなくなる方も多くいらっしゃいます。また、お口に關する筋肉が衰えると、噛む・飲み込むといった動作が難しくなり、さらに表情も乏しくなってきます。入れ歯が合っていない場合は、お食事が楽しめず、栄養を取るのが難しくなることで全身の衰えにもつながります。

このような心配は、早めに歯科医院で解決しましょう。元気な方は、ぜひ定期的に歯科医院に通い、クリーニングや健康状態のチェックを行ってみてください。歯科医院へ通えない場合は、訪問歯科をご検討ください。特に高齢者や要介護の方の場合、訪問歯科診療の経験豊富な医院を選ぶことがおすすめです。飲んでいるお薬によっては、歯を抜くことが危険な場合もある、というように、服薬や体調、疾患についてまで細心の注意を払うリスク管理が重要なためです。

訪問歯科を日本で初めて組織的にスタートした高輪会には、訪問歯科を専門に行っている歯科医師・歯科衛生士・言語聴覚士が在籍しておりますので、安心してお任せください。もちろん外来歯科もごさいますので、皆さまのライフステージに合わせたご案内が可能です。

高輪会は「お口から食べられる喜び」を追求し、患者様一人ひとりに合った適切なお口の健康管理を行っています。いつまでも美味しく食べるために、ぜひ皆さんもお口の健康に目を向けてみてください。



渡辺 昭子 Akiko Watanabe

医療法人社団高輪会 人材企画部教育研修課所属。口腔機能支援チームチーフ歯科衛生士。施設などで口腔ケアや食支援を行うほか、グループ全体に所属する歯科衛生士の指導や教育、セミナー講師に従事。訪問歯科衛生士歴15年。